



岩田榮吉《マスカン(トロンブルイユ)》油彩 1974年 笠間日動美術館蔵

トロンプ
ルイユの
現在 いま
2019

Trompe-l'œil, Today

岩田榮吉
城戸義郎
池田誠史
鳥越一穂
山本大也

2019.4.20 | Sat ~ 2019.7.21 | Sun

【開館時間】 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
【休館日】 毎週火曜日 【観覧料】 500 円 (保護者同伴の中学生以下 1 名無料)

横浜本牧絵画館
Yokohama Honmoku Gallery

〒231-0822 神奈川県横浜市中区本牧元町 40-7
TEL:045-629-1150 FAX:045-629-1151

公式HP:www.yh-g.org
岩田榮吉HP:www.iwata-museum.org

〔後援〕 **NHK** 横浜放送局 **神奈川新聞社**

写実絵画の伝統技法 《トロンプルイユ》の現在

近年、だまし絵、あるいはトロンプルイユなるものを目にする機会がめっきり多くなりました。中にはTシャツのプリントや工事現場のフェンス、週刊誌のイラストまで。しかし、もともとのトロンプルイユは長い美術の歴史の中に培われた絵画のジャンルです。

当館のメインコレクション作家である岩田榮吉は、ヨーロッパ絵画の伝統である写実的な細密表現を追求し、そのひとつの到達点としてトロンプルイユを手がけました。日本人の画家としては先駆的な存在です。

岩田がフランスで志を同じくした画家たちのグループは現在にまで続き、また日本においても、決して多くはないものの、トロンプルイユを志向する画家たちが、それぞれの境地を開こうとしています。今回はそうした流れをあらためて振り返り、いささかでも現代のトロンプルイユをめぐる状況を把握したいと思います。そして願わくは、さらに多くの参加を得て、今回の展示のさらなる発展を目のあたりにしたいものです。



城戸義郎《天球儀 (トロンプルイユ)》油彩 1993年
空間日動美術館蔵

横浜本牧絵画館

Yokohama Konmoku Gallery



当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。

岩田榮吉 (1929-1982)



当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油絵科を首席で卒業し、その後生涯パリで制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ 17 世紀絵画の影響を受ける一方、トロンプルイユ (だまし絵) を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。

公共交通機関からのアクセス

元町・中華街駅より

(東急東横線・みなとみらい線)

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から横浜市営バス8系統「本牧車庫」行「本牧元町」下車
所要約30分・徒歩1分

横浜駅より

(JR各線、東急東横線、京浜急行、横浜市営地下鉄)

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統「本牧車庫」行「本牧元町」下車
所要約40分・徒歩1分

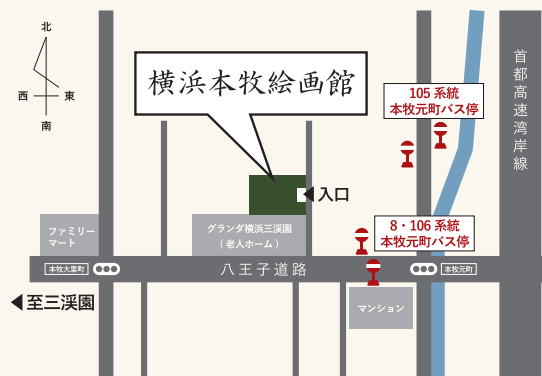
桜木町駅より

(JR京浜東北線)

横浜市営バス西口11番乗場から105・106系統
東口2番乗り場から8系統
「本牧車庫」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

磯子・根岸方面より

横浜市営バス58・99・101系統「和田山口」で下車、道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統「本牧車庫」行「本牧元町」下車
「和田山口」から所要約10分・徒歩1分



※専用の駐車スペースはありません。(近隣のコインパーキングをご利用ください)
※車いす用の来車スペースが1台あります。ご利用は事前にご連絡ください。